

先進的窓リノベ事業で最大200万円！窓リノベを応援

先進的窓リノベ2025事業

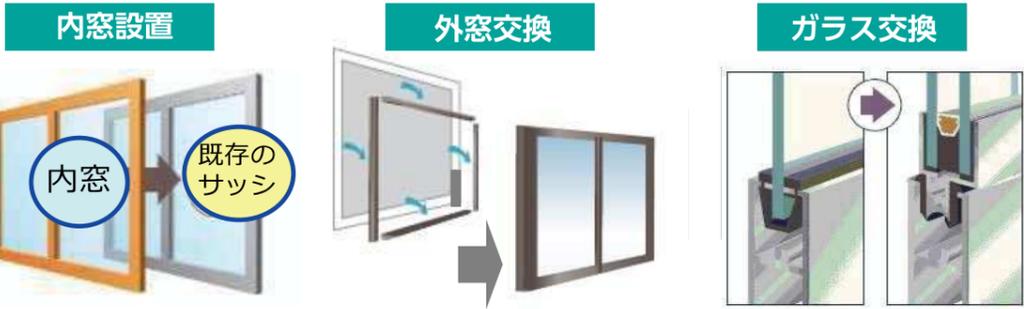
先進的窓リノベ2025事業とは？

(断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO₂加速化支援事業)

- 制度の目的** エネルギー費の負担を軽減し、快適な住まいを実現し、2030年までに家庭のCO₂排出を66%削減。暮らしの質を高め、GX(グリーン転換)を加速
- 補助内容** 高断熱窓への改修費用の1/2相当(定額)を補助(上限200万円/戸)
リフォーム事業者が申請し、住宅所有者等に全額還元

集中支援期間
(3年間)
の最終年

窓のリフォーム工事 高性能な断熱窓(Uw値1.9以下)へのリフォーム



気候変動の影響が拡大する今、 私たちができること — あなたの窓が、未来を変える —

気候変動は
もはや日常的に
暮らしを脅かしている

窓から始める、未来の暮らし

環境省地球環境局 地球温暖化対策課
住宅・建築物脱炭素化事業推進室 室長 寺井 徹

気候変動は、いま私たちが直面する最大の課題のひとつです。大気中の二酸化炭素(CO₂)濃度は年々上昇し、これに伴い世界の平均気温も上がり続けています。2024年の平均気温は、観測史上もっとも高くなりました。日本でも世界でも、猛暑や集中豪雨などの異常気象が増え、農作物や私たちの暮らしに様々な影響が出ています。

こうした中、日本は、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ネット・ゼロ」を目指しており、環境省では家庭部門の対策として「住宅の省エネ化」を推進しています。なかでも注目されているのが「窓の断熱改修」です。家庭で使うエネルギーのうち約4分の1は冷暖房に使われていますが、日本の住宅の約7割は、いまだ断熱性の低い単板ガラスのみの窓であるため、窓から熱や冷気が逃げやすく、エネルギーを無駄にしています。そこ

で、環境省では「先進的窓リノベ事業」により、断熱性の高い窓への改修を支援しています。窓の性能を高めることで、冷暖房の効率が上がり、光熱費を節約できるだけでなく、夏も冬も快適で健康的な住まいを実現できます。

脱炭素につながる新しいライフスタイルへの転換を促す「デコ活」でも、窓の断熱改修をはじめとする住宅の省エネ化を強く呼びかけています。

本年度は、「先進的窓リノベ事業」の集中支援期間の最終年です。この機会にぜひ、快適で環境にやさしい暮らしへの一歩を踏み出してみませんか。

環境省は、ネット・ゼロ実現に向けた取組をさらに加速させていきます。ご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



光熱費削減で
環境にも
家庭にも効果！

窓の断熱改修で
暑さ・寒さ対策

お問い合わせはこちら！

世界が警鐘を鳴らす異常気象、窓から始める気候変動対策

世界で進行する異常気象と温暖化の現実

地球の気温はすでに約1℃上昇！
気候変動問題への対応は待たなし！科学的知見に基づく人類共通の課題です。



日本でも進行する気候変動の影響

農林水産業の変化

高温によるリンゴの着色障害
出典：全国地球温暖化防止活動推進センター 1999 / 農研機構 果樹研究所 杉浦俊彦

高温による白未熟米の発生形態
出典：平成19年版 環境 / 循環白書 石川県立大学 永島秀樹

基白米 背白米 乳白米

日本の年平均気温偏差の経年変化 (1898~2024年)
出典：文部科学省及び気象庁「日本の気候変動2025」より引用

自然災害の増加

豪雨の頻度上昇、土砂災害の増加
出典：平成30年7月の台風7号に伴う豪雨で増水した鴨川
令和2年7月豪雨による土砂災害 (写真：国土交通省 HP)

健康リスクの拡大

熱中症による死亡者増加 (2024年には2,000名超)、感染症媒介生物の生息域拡大

経済・都市生活への影響

保険金の増加、農作物の品質悪化、スキー場の積雪不足

気候変動の影響が拡大する今、私たちができること

気候変動対策にはCO₂排出削減が不可欠です。中でも「住まいの省エネ対策」は大切な取り組みです。

窓の断熱性能を高めることは、身近にできる気候変動対策です。

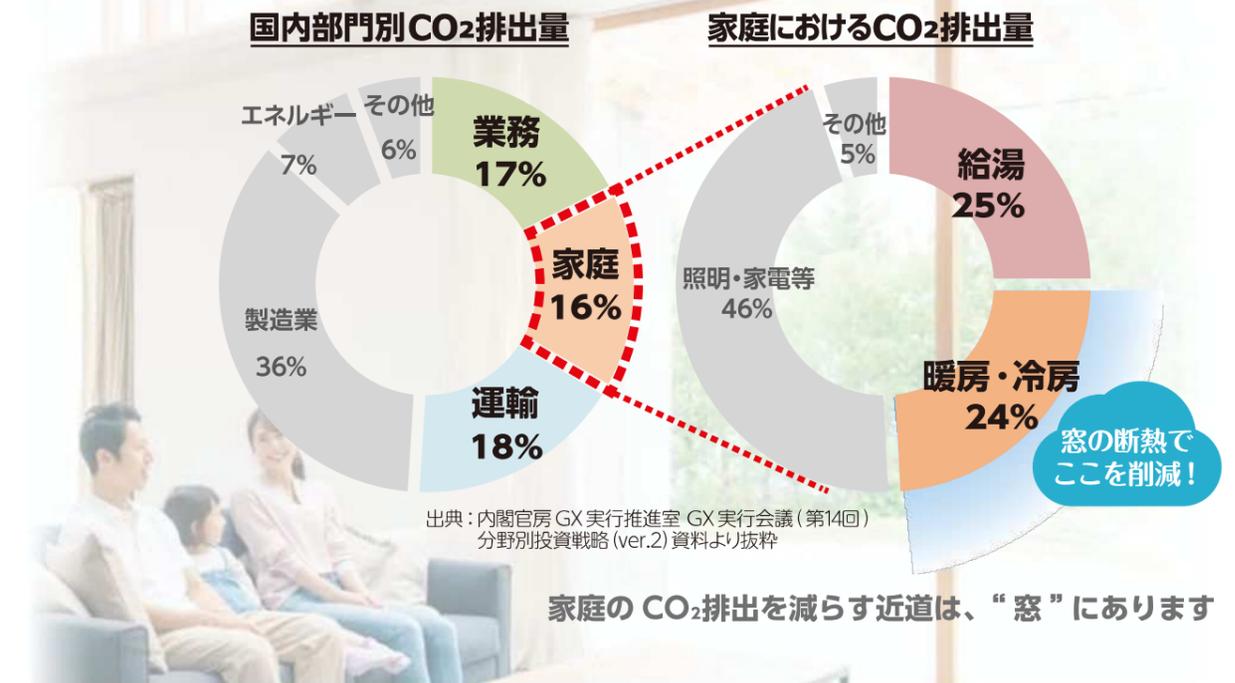


家庭から始める、地球を守るリフォーム CO₂排出、家庭も例外じゃない

家庭のCO₂排出は全体の16%。そのうち、暖房・冷房が約1/4近くを占めています。窓の断熱性能を高めることで、暖冷房のエネルギーを大きく削減できます。

家庭部門の排出量が多い

暖房・冷房は約1/4も!



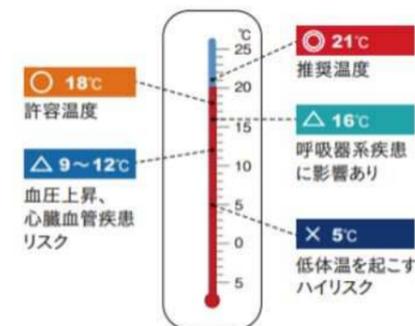
家庭のCO₂排出を減らす近道は、“窓”にあります

あなたの家、冬は寒すぎ・夏は暑すぎ?

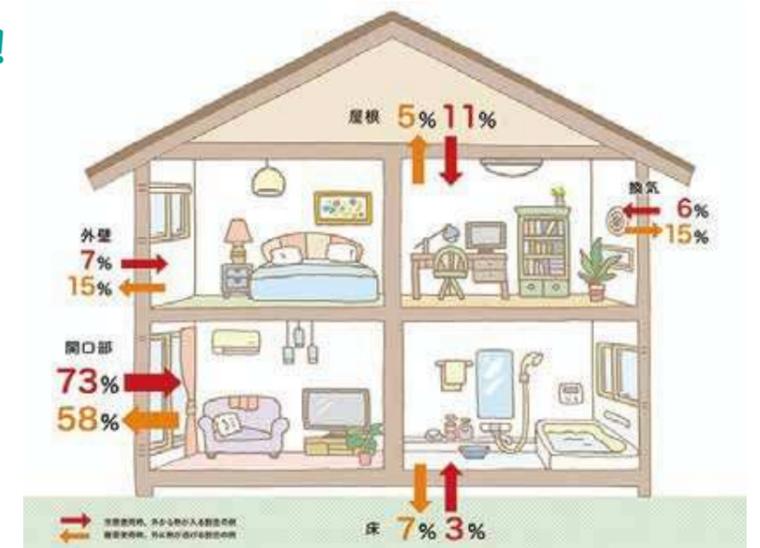
日本の室温は低すぎる!

日本の家庭の冬の平均室温が、リビングで16.8℃、寝室で12.8℃でした。(2019年厚労省調査) WHOは冬の室温18度以上を推奨しています

→ 多くの日本の家庭は基準以下!



出典：英国保健省 2009 年次報告書より



出典：(一社)日本建材・住宅設備産業協会省エネルギー建材普及促進センター「省エネ建材で、快適な家、健康な家」を基に環境省作成

住宅の熱の60~70%は窓から出入りしています!今すぐ対策を